

# ワクチン産業ビジョン推進委員会 混合ワクチン検討ワーキンググループ報告書

資料5-1

## 【ワクチン産業ビジョン推進委員会】

- 平成19年10月～平成20年3月 個別ワクチンについて議論
- 平成21年 2月～平成23年1月 混合ワクチンについて議論  
(平成20年12月混合ワクチン検討WG設置)
- 平成23年 3月 WGでの検討結果(報告書)とりまとめ

## 【報告書構成】

### 【総論】

#### ○混合ワクチンの利点

- 接種による負担の軽減  
(接種回数減、被接種者・家族の負担減、医師の負担減)
- 接種率の向上
- 予防接種スケジュールの充実化 等

#### ○今後の課題

- 疫学・予防接種のニーズを踏まえた新たな混合ワクチンの開発
- 関係者を含めた国民の理解・協力を求める仕組み
- 混合ワクチン開発への支援のあり方

#### ○混合ワクチンの開発にあたっての問題点

- 相互作用・干渉の問題
- 結合型ワクチンの混合化による過剰免疫
- 安全性への配慮
- 供給体制における適切な管理
- 予防接種スケジュール等の整合

- 海外から導入されるワクチンの審査に必要なデータ等の考え方
- 我が国の技術特性に合わせた特徴のある製品の開発、研究開発体制の推進等

### 【各論】

#### ○我が国で開発が望まれる混合ワクチン [各国で開発が進められている混合ワクチンを踏まえ]

- DPT系統の混合ワクチン(DPT-IPV等)
- MR系統の混合ワクチン

### 【結語】

- 混合ワクチンには多くの利点(負担軽減、利便性向上、接種率向上など)あり。  
社会のニーズに合わせた混合ワクチンを速やかに開発することが必要。
- 将来的には、我が国のワクチンを海外へ提供できるようワクチン開発基盤の強化が重要。